



まきのほら

教育委員会だより

〈前面〉教育委員会表彰 表彰式の開催
〈中面〉山崎こども教育賞 表彰式の開催
川崎小学校の校歌と歴史
〈後面〉わが園じまん（地頭方幼/川崎幼）

牧之原市教育委員会表彰 表彰式を開催

3月5日(日)牧之原市相良総合センターにおいて、牧之原市教育委員会表彰 表彰式が開催されました。受賞者は次のとおりです。

【少年少女ノーベル賞】6個人

- 中島沙菜（萩間小5年）
第30回全日本小学生女子ソフトボール大会 第3位
- 磯崎陽来（川崎小1年）
第54回全国空手道選手権大会 小学1年女子 形試合 優勝
- 杉山果穂（川崎小6年）
第30回全日本小学生女子ソフトボール大会 第3位
- 山本雄理（科学技術高校2年）
第16回高校生ものづくりコンテスト 全国大会
旋盤作業部門 準優勝
- 山本有馬（吉田特別支援学校高等部2年）
第16回全国障害者スポーツ大会
希望郷いわて大会 陸上競技 立幅跳 知的少年の部
競技 No. 2215 第3位
- 森田真礼（神戸弘陵高校2年）
第20回全国高等学校女子硬球選手権大会 優勝

【教育委員会表彰】20個人3団体

- 植田獅星（相良小1年）
JA 共済小・中学生書道コンクール 条幅の部
金賞（テレビ静岡賞）
- 澤入夏凜（相良小2年）
第66回静岡県席書コンクール 最優秀賞
- 酒井 倅（相良小4年）
第66回静岡県席書コンクール 最優秀賞
- 中村秀美（相良小4年）
平成28年度 第33回山崎賞 児童・生徒の部 山崎賞
- 田川 凜（相良小5年）
平成28年度 小・中学生動物愛護絵画・作文コンクール
作文部門 静岡県知事賞
- 山本一颯（相良小5年）
平成28年度 第33回山崎賞 児童・生徒の部 山崎賞
- 神谷未来斗（相良小6年）
平成28年度 第33回山崎賞 児童・生徒の部 山崎賞
- 谷中結良（菅山小6年）
第5回 青少年赤十字作品コンクール 100文字作文の部
支部長賞
- 大岩千紗紀・大岩仁美（萩間小5年）
平成28年度 親子でつくる学校給食メニューコンクール
教育長賞
- 大窪澄伶（地頭方小3年）
平成28年度 静岡県小中学校児童生徒書き初め
コンクール 最優秀賞



【教育長から授与される様子】

- 小笠原遥菜（地頭方小6年）
第32回静岡県少年少女空手道選手権大会 個人組手
小学6年生女子 優勝
- 沢田陽奈（勝間田小5年）
平成28年度 第33回山崎賞 児童・生徒の部 山崎賞
- 吉添美穂（坂部小5年）
平成28年度 静岡県小中学校児童生徒書き初め
コンクール 最優秀賞
- 遠藤圭人（相良中3年）
平成28年度 税の作文コンクール 静岡県知事賞
- 神谷明日菜（相良中3年）
平成28年度 静岡県小中学校児童生徒書き初め
コンクール 最優秀賞
- 柴本悠汰（榛原中3年）
第38回東海中学校総合体育大会 水泳競技大会
200M平泳ぎ 第5位
- 水野真琳（榛原中3年）
平成28年度 第33回山崎賞 児童・生徒の部 山崎賞
- 西谷知也（藤枝明誠高校3年）
第95回全国高校サッカー選手権大会 静岡県大会 優勝
- 永松良章
スタンドアップパドルボード世界大会
ハワイ・モロカイ島～オアフ島 53km 横断レース 優勝
- 大塚美咲
平成28年度 第33回山崎賞 教員の部 山崎賞
- 萩間小学校花いっぱい委員会
平成28年度 フラワーブラボーコンクール 大賞
- 榛原ちびっ子バレーボール
ファミリーマートカップ 第36回全日本バレーボール
小学生大会 静岡県大会 混合の部 優勝
- 片浜小学校5年生
平成28年度 第33回山崎賞 児童・生徒の部 山崎賞

※「牧之原市少年少女ノーベル賞」は、全国レベルで優秀な成績を収めた、20歳未満の方々を表彰しています。
※「牧之原市教育委員会表彰」は、県大会等で優秀な成績を収めた方々を表彰しています。
※過去に同競技で同じ表彰の受賞歴のある方は対象外です。

山崎こども教育賞表彰式が開催されました

公益財団法人山崎こども教育振興財団主催の山崎こども教育賞表彰式が3月5日(日)牧之原市相良総合センター「い〜ら」で開催されました。この賞は、思いやりある行動や日頃の努力が顕著であり、他の模範となる活動を行った小学6年生及び中学3年生の児童生徒を表彰するものです。

- 受賞者は以下のとおりです(27個人)
- 伊藤 楓 (相良小) ○川嶋 柊斗 (勝間田小)
 - 長野 希泉 (相良小) ○須藤 大貴 (坂部小)
 - 藤田 華菜 (相良小) ○鳥羽 映佑 (相良中)
 - 大石 伊吹 (片浜小) ○四ノ宮 龍斗 (相良中)
 - 高塚 麻由 (菅小) ○藤野 遙灯 (相良中)
 - 八木 初美 (萩間方小) ○増田 梨沙 (相良中)
 - 神谷 空志 (地頭方小) ○鈴木 郁海 (相良中)
 - 田村 啓人 (牧之原小) ○平岡 優希 (牧之原中)
 - 本杉 萌々花 (川崎小) ○峯野 彩奈 (榛原中)
 - 今村 優花 (川崎小) ○鈴木 涼太 (榛原中)
 - 片瀬 智陽 (川崎小) ○加藤 千聖 (榛原中)
 - 山口 慶太 (細江小) ○戸塚 愛琳 (榛原中)
 - 桑田 駿佑 (細江小) ○野本 美喜 (榛原中)
 - 田代 楓 (細江小)

＜主な受賞理由＞

◎小学生：あいさつ、学校のリーダーとしての活躍、友達やまわりの人への思いやり等

◎中学生：生徒会活動、友達やまわりの人への思いやり、リーダーとしての日頃の努力等



【謝辞：平岡優希】

*公益財団法人山崎こども教育振興財団は、故山崎貞一氏が平成10年に旧相良町に寄付された3億円を財産に平成17年10月に設立されました。子どもたちの健全育成と理科教育振興の事業を行っています。

〈故 山崎貞一氏〉



子ども☆まきのほら塾

小学生のみなさんに、地域の大人がいろいろな体験を指導してくれます。家や学校ではできない「新しい体験」にチャレンジすることが大きな「自信」になります。友達をさそってぜひ参加してください!!

まきのほら塾の一つ、「3B体操」を紹介します。3B体操は、ボール、バル、バルターを使用する健康体操です。曲に合わせてダンスをしたり、ゲームをして楽しく体を動かします。はじめての人でも、先生がやさしくわかりやすく指導してくれます。

- ◇他にもたくさんのお塾があるよ◇
- ・囲碁・茶道・コーラス・英語
 - ・能力パズル・フラワーアレンジ
 - ・絵手紙

*募集チラシは4月中旬に小学校から配布します。

(社会教育課：53-2646)

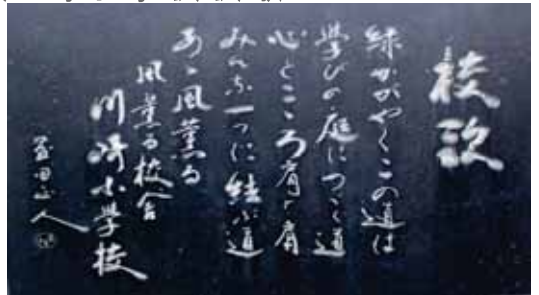


【3B体操の様子】

学校の校歌に歴史あり

～校歌から紐解く学校の歴史～

川崎小学校校歌「風薫る校舎 川崎小学校」



「川崎小学校に校歌を!」そのような声があがったのは、今から50年も前のことです。昭和41年、当時の保護者と校長先生が中心となってどのような校歌にするか検討を重ねました。その結果、作詞は郷土の誇り、藤田まさと先生にお願いすることになりました。藤田まさ先生は、すばらしい歌を多数世に送り出しているすばらしい作詞家です。藤田まさ先生と古閑裕而先生のコンビにより、昭和42年に校歌は完成しました。子どもたちが大好きなのは、「みんなひとつにむすぶ道」という歌詞です。この校歌を歌うたびに、少しずつ少しずつ、仲間との絆が深まっていく感じがするからです。そして、この校歌を歌うみんなが好きなのは、「風薫る校舎 川崎小学校」の歌詞。川崎小学校は本当に風が薫るのです。校庭の様々な木々の香りが教室に流れてきます。3階渡り廊下には、静波海岸から気持ちのいい潮の香りが届きます。裸足の広場でごろりと横になると、芝生のいい香りに包まれます。なかよし山周辺では、笑顔の子どもたちが駆け回り、元気な風が吹いています。この校歌は、50年間歌い継がれてきました。お父さんお母さんも歌った校歌です。町の大人も口ずさめる、みんなから愛されている校歌です。歴史と伝統のある学校の、愛され続けてきた校歌を歌えることに誇りを持ち、川崎小の子どもたちは、今日も、力一杯響く声で、校歌を歌います。

牧之原小が環境美化教育優良校を受賞!!

公益社団法人食品容器環境美化協会では、環境美化教育に独創的、継続的かつ熱心に取り組み、地域の環境美化に大きく寄与している全国の小中学校を表彰しています。今回、牧之原小学校が、県内で唯一、「環境美化教育優良校表彰」の優良校・協会会長賞に選ばれました。牧之原小学校は、児童会が中心となってアルミ缶とエコキャップの回収に取り組み、収益金の一部を児童福祉施設(つくしの家)の子どもたちへのプレゼントにあてています。また、授業で出た画用紙の切れ端や余った印刷紙を回収し、リサイクルに回しています。さらにPTA活動でも資源の回収を行っています。地域住民も家庭のアルミ缶を学校に持ち寄るなど、地域の協力体制を整えてきました。エコキャップの選別では、ペットボトルのキャップ以外のものや汚れているものなどがあり、選別や洗浄が大変でしたが、牧之原小学校の子どもたちは、つくしの家の子どもの笑顔を楽しみに頑張り、満足感や充実感を味わうことができています。今回の受賞をきっかけに、さらにリサイクル意識を向上させていきたいとのことでした。



牧之原市いじめ防止等のための基本的な方針が施行されます。

牧之原市「いじめ防止等のための基本的な方針」は、地域の社会的な繋がりを強化し「こころざしを持ち夢ある人」を育てる目的に向けて作成され、平成29年4月1日から施行されます。詳細は4月から牧之原市のホームページから見る事ができますので、ぜひご覧ください。(学校教育課：53-2645)

学校の改修工事が終了しました!

【今年度実施した主な工事】

- 大規模改修：榛原中学校
- 雨水利用装置設置：榛原中学校

来年度以降も計画的に進めていきます。

(教育総務課：53-2642)



片浜小・相良小が統合します。

片浜小学校と相良小学校が統合し、4月1日より、片浜小学校の児童は、相良小学校へ通学します。片浜小学校では、3月19日(日)に閉校式が行われ、62年の歴史に幕を閉じることになります。

(教育総務課：53-2642)



ファミサポ会員を募集しています

牧之原市ファミリー・サポート・センター(平成28年10月開設/通称：ファミサポ)は、地域において、育児の援助を頼みたい人(お願い会員)と援助をしてくれる人(任せて会員)が事前に会員登録をし、援助が必要な時に利用できる会員組織です。

お願い会員 (育児の援助を頼みたい人)	任せて会員 (援助をしてくれる人)
市内に住む0歳(概ね4ヶ月)～小学校6年生までのお子さんをお持ちの方。会員登録し、1度利用した事のあるお子さんであれば、急な預かりやお迎えにも対応可能です。	市内及び近隣市町に住む20歳以上の方で、地域や子育て支援に理解と熱意のある方。 ※会員登録前に研修(10時間程度)を行うため、安心して活動に参加できます。

※入会金、年会費、保険加入の負担金はありません。ひとり親家庭等で児童扶養手当を支給されている方は、利用助成制度もあります。利用料金や報酬等については、お問い合わせ下さい。

(牧之原市ファミリー・サポート・センター：23-0077)

読み聞かせボランティア「おはなしパレット」ダブル受賞!!

～子ども達におはなしの世界を!～

・静岡県読書推進運動協議会長表彰「平成28年度 優良読書グループ」

・静岡県教育委員会教育長表彰「平成28年度子どもをはぐくむ地域活動団体」

「おはなしパレット」は平成20年に発足し、現在11名で活動しています。自分たちの子どもが小学校を卒業した後も、引き続き多くの子どもたちにおはなしを届けたいというメンバーが集まり、グループが誕生しました。主な活動は、月に一度開催する市内小学校でのおはなし会です。その活動の中で特に力を入れていることは、対象に合わせたバリエーション溢れるプログラム構成であり、季節感を大切にしながら、読み聞かせ・ストーリーテリング・手遊び・手作りの楽器で紙芝居に効果音を取り入れるなど、様々な工夫をしています。また、子どもたちに地域に対する興味や関心、理解を深めてもらえるように、「鈴木梅太郎」や「波切り不動」などの物語を手作りの紙芝居にして披露する活動も行っています。今後もより多くの子どもたちにおはなしを届けるため、子育て世代の方々にもぜひ一緒に活動してもらいたいと思っています。

(社会教育課：53-2646)



インフォメーション



わが校・わが園じまん

市内の小・中学校、幼稚園・保育園の『じまん』を毎号、紹介していきます。お楽しみに！



【魚をさばく様子を親子で見学】



【芋切干し作り】

地頭方幼稚園 【おいしい事は、楽しい事「ごちそうタイム」】

「じゃが芋餅出来たよ。」「芋けんぴ作ったけど食べる?」と声を掛けると、「わあい!手を洗ってくる。」と直ぐに集まって友達とワイワイ食べる『ごちそうタイム』が地頭方幼稚園の自慢の一つです。今年度は 28 回行われました。

園庭の畑や田んぼ、プランターなどで栽培した野菜は、収穫するとすぐに調理してみんなで食べます。採れたての野菜を、友達と一緒に、出来立てホヤホヤで食べると最高においしい。苦手だと思っていたピーマンも「ごちそうタイム」の天ぷらは不思議と食べる

事が出来てしまうのです。

また地域の方からご協力いただき、茶摘み、米作り、芋掘り、栗拾い、芋切干し作りなど、ここでも「おいしい体験」ができ、今年度は地頭方沖で獲れた6キロのキハダマグロを、みごとな包丁さばきで刺身にするところを、親子で見せてもらい、貴重なおいしい体験ができました。

おなかの満足は心の満足と言われます。楽しく食べる体験を積み重ね、広い園庭で友達と思い切り体を動かして遊び、心も体も伸び伸び育ってほしいと願っています。

川崎幼稚園 【鼓隊と自園調理 地域に開かれたこども園】

川崎幼稚園は、平成 27 年度より幼保連携型認定こども園に移行し、0 歳から 5 歳までの子どもたちが元気に通園しています。異年齢の子どもたちがふれあうことで思いやりの気持ちが自然に育っています。

川崎幼稚園では年長児になると、「鼓隊」に取り組みます。これは 35 年続く川崎幼稚園の伝統です。子どもたちにとっても太鼓はあこがれで、鼓隊から「リズム感」、仲間を気遣う「思いやり」「協調性」「責任感」など様々なことを学びます。やり遂げた時の達成感や子どもたちの大きな自信に繋がります。鼓隊は地域のイベントや 12 月の「交通安全パレー

ド」でも披露する機会があり、地域との交流を深める活動にもなっています。

こども園移行と同時に自園調理を導入し、食育にも力を入れています。生活の中で五感をすべて使うのは「食」活動のみです。五感を介したたくさんの経験は子どもの感性をゆたかにしてくれます。

「野菜づくり」「食育講座」「行事食」「クッキング」など、楽しみながら食の大切さを子どもたちに伝えています。

これからも、地域に開かれたこども園として家庭、地域、園が一体となり子どもたちを見守り、健やかに育てていきたいと思っています。



【運動会 太鼓ドリル演奏】



【とうもろこしの収穫】

〈編集後記〉

世代を超えて歌い継がれる曲があります。その歌詞を読む、耳にする、そして口ずさむ時に遠い昔のあの時の情景がよみがえる。校歌はまさにその代表ではないでしょうか。

本紙の特集「学校の校歌に歴史あり」をご覧いただき、皆さんの心の中の“あの日・あの時の思い出”をお楽しみいただけたら嬉しく思います。

編集委員長 澤田 衛

★ご意見・ご感想はこちらまでお寄せください

教育委員会だより編集委員会

電話：53-2642 FAX：53-2657

〒421-0592 牧之原市相良 275

E-mail：kyoiku@city.makinohara.shizuoka.jp

～ 祝日には国旗を揚げましょう ～